

2015年12月21日

株式会社アイキャスト 第20回番組審議委員会 議事録

■日時： 2015年12月17日（木）16:00～17:00

■場所： サンシャイン60

■出席者： 番組審議委員

|    |     |   |        |
|----|-----|---|--------|
| 中島 | 洋   | 様 | （委員長）  |
| 金子 | 淳平  | 様 | （副委員長） |
| 石田 | 紗英子 | 様 |        |
| 木津 | 直昭  | 様 |        |
| 次原 | 悦子  | 様 |        |
| 中島 | 央   | 様 |        |
| 夏目 | 幸明  | 様 |        |
| 野田 | 一夫  | 様 |        |
| 細貝 | 淳一  | 様 |        |

|        |     |    |                  |
|--------|-----|----|------------------|
| アイキャスト | 板東  | 浩二 | （代表取締役社長）        |
|        | 沼尻  | 孝  | （取締役副社長）         |
|        | 永田  | 勝美 | （取締役）            |
|        | 寺嶋  | 貴樹 | （取締役サービス本部長）     |
|        | 赤穂谷 | 匡広 | （取締役経営企画本部長）     |
|        | 安西  | 浩樹 | （サービス本部 編成部部长）   |
|        | 塚原  | 直子 | （経営企画本部 事業戦略部部长） |
|        | 鈴木  | 賢司 | （ 同 事業戦略部／書記）    |

■議事内容

1. 「ひかりTV」サービス概況の報告 ～4Kに対する取り組み～

2. 番組審議

(1) 『人類の遺産 古代エジプト5000年 謎と秘密と新発見

第1話 砂漠に眠る秘宝を求めて』について

- ① 4K映像の色彩の美しさや立体感、迫力を改めて実感することができた。4Kコンテンツの今後の未来が非常に楽しみである。
- ② 知的刺激が豊富な内容となっており、興味を持って見られる番組であった。

- ③ テンポがよく、早く次の話を見たいと思わせるような内容であった。すきま時間に見ることを考えると、15分という時間もちょうどよいと思われる。
- ④ ツタンカーメンとはどのような王だったのかということや、吉村作治氏のより詳細な説明があれば、視聴者の理解が一層促進されるのではないかと感じた。
- ⑤ 番組のクオリティは大変高いと感じたが、一方で典型的なドキュメンタリーとなっており、ひかりTV4Kだからこそ可能な番組の作り方や見せ方、独自性という観点で一層の工夫の余地があるのではないかと感じた。
- ⑥ 内容が少々難しく、一般的な視聴者が興味を持つのだろうかと感じた。
- ⑦ 4K映像の場合、カメラワークが動きすぎると、長時間視聴した場合に気分が悪くなってしまうことがある。臨場感が高まるが、制作上、留意しなければならない点だと感じた。

## (2) 『ナショナルジオ グレイトネイチャー

「世界大自然紀行：バハカリフォルニア半島」』について

- ① 非常にクオリティが高く、人に見せることを強く意識して作られている番組であった。音楽もそれぞれのシーンが盛り上がるように作られており、映画的なつくりの番組だと感じた。
- ② 4Kの時代になると、映像が美しいのは当たり前になってしまうので、その先を見据えたコンテンツ作りを試行すべきなのではないかと思う。
- ③ 視聴者に対して、番組内容に関連した知識や経験を得るためのきっかけを提示すると、より価値の高い番組となるのではないか。例えば、番組に登場した地域の情報や、出演者が推薦する書籍等を紹介するといったことである。こうした企業姿勢は、PRやブランディングの観点でも有効ではないかと考える。
- ④ 美しい4K映像が一般的になると、映像メインで物語を作り上げるような、高度な演出が必要になってくるのではないかと感じた。

以 上